

東山区基本計画（第2期）素案へのご意見・ご提案 *ページ数は「東山・まち・みらい計画 2020」のページを示します

計画全般

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
1	理想的で抽象的な表現でピンとこない。親近感のある具体的な提示を望む（70歳代/女性/今熊野）	計画では、各取組項目で具体的な取組事例を記載するなど、分かりやすい表現に努めました。計画冊子にまとめる際に一層の工夫を図ります。
2	計画の策定に当たり、学区もしくはもっと小さい単位での自由参加の懇親会などを何度も開いて、住民自らが考え行動していく必要があると思う（50歳代/女性/修道）	計画の策定に当たっては、各学区において住民円卓会議が設置され、学区の特性や課題等について協議をしていただいています。また、区民の皆さんのご意見は、アンケートや意見募集などを実施し、策定段階でお伺いするようにしました。

2 東山区のまちづくりの理念と方針

(1) まちづくりの理念 (5ページ*)

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
3	東山区民の人口減少についても議論すべき（60歳代/男性/有済）	東山区の政策を検討するうえで、人口の推移は大変重要な要素です。引き続き、人口減少の対策について検討を進めていくことが必要であると考えます。
4	何事も、人口を増やすための対策を講じなければならない（50歳代/女性/ー）	東山区の政策を検討するうえで、人口の推移は大変重要な要素です。引き続き、人口減少の対策について検討を進めていくことが必要であると考えます。
5	今回示されている4つの未来像を掲げ、まちづくりを進めることは、よりよい東山区をつくっていくと思う（40歳代/女性/清水）	計画では、4つの未来像の実現に向けて、区民と行政が計画を共有し、東山区全体で取組を推進することとしています。
6	区民一人一人が、他区よりも観光・文化・自然・伝統などの突出した資源があることを自覚し、連携した取組ができるような施策であってほしい。こうした一丸となった取組が、観光客などの多くの人に広がればよい（50歳代/男性/ー）	計画の推進に当たっては、区民ひとりひとりの参加と連携した取組が大切です。この計画では、区民に加えて、事業者や行政の役割を明確化し、区民と行政の「共汗」による未来像の実現を委員会としても期待します。

(2) 未来像・まちづくりの方針 (6ページ)

全般

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
7	観光シーズンで京都を訪れる人たちが大勢やってきたとしても、区民も、観光客も、共に不便や不満を感じないまちになればよい (20歳代/女性/貞教)	計画では、区民にとっても、来訪者にとっても、住みやすく魅力のあるまちを目指して、さまざまな分野の政策の融合を図り、まちづくりを進めていくこととしており、ご意見の趣旨に合致すると考えます。 ⇒6ページ (未来像とまちづくり方針)
8	多世代が共に助け合う東山の実現が必要。特に若い人たちが、東山に住みたくなるような事業を進めてほしい (50歳代/男性/新道)	少子高齢化が著しい東山区では、若い世代の定住が重要であると考えます。計画を進めていく中で、若者が住みたくなるようなまちを目指し、具体的な取組を検討していきます。
9	伝統的なまちづくりと市の政策を融合させて取組を進めること (50歳代/男性/弥栄)	これまで培われてきた地域活動をさらに活性化し、市の政策とも連携しながら、住民主体のまちづくりを進めていくことが大切であると考えます。

未来像1・まちづくり方針「木と水の文化の推進」(7ページ)

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
10	東山の常緑樹を守ることが大切だ (70歳代/男性/清水)	東山の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、環境保全の活動を進めることとしています。 ⇒11ページ施策②
11	自宅前の道路清掃、打ち水の復活は地区の環境の保全のために必要 (70歳代/男性/今熊野)	区民も来訪者も美しいと実感するまちを目指し、門掃きや打ち水などの習慣の普及・促進に取り組むこととしています。 ⇒11ページ施策④
12	温暖化問題は待ったなし。具体策を一日も早く進めるべき (70歳代/女性/今熊野)	地球温暖化防止は、すべての人が担うべき課題であると考え、環境にやさしい生活様式への転換を推進するための取組を記載しています。 ⇒11ページ施策①
13	自然景観は観光産業にも重要であり、自然景観の保全はまちの活性化につながる (50歳代/男性/清水)	東山区には、豊かな自然景観に魅力を感じ、国内外から多くの方が訪れており、自然景観の保全は観光産業の活性化にも大きく貢献し、ひいてはまちの活性化につながると考えます。
14	一戸建ての住居の推進、集合住宅の規制により、「木と水の文化の推進」を最優先に推進することが重要 (70歳代/男性/今熊野)	京都市では、建築物等のデザインや高さについて、地域の特性に応じた規制等により景観保全が進められています。東山区の風情ある町並みを継承するため、「木の文化」を推進することとしています。 ⇒7ページ未来像1のまちづくり方針

15	山科街道（滑石街道）のマツ枯れ対策として、自動車の排ガス対策を講じてほしい（90歳代/男性/今熊野）	自然環境の保全のため、クルマに依存しない生活への転換を推奨しています。
16	東山には京都ならではの情緒あふれる景色がたくさん見られるので大切にしたい（30歳代/女性/清水）	風情ある町並みや豊かな自然景観は東山区の誇る魅力であると考えます。

未来像2・まちづくり方針「クルマ依存型社会からの脱却」（7ページ）

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
17	パークアンドライドを実行して、郊外に大きな駐車スペースをつくり、観光客の乗り入れを制御することが重要なキーワードの一つになる（40歳代/男性/清水）	区民にも来訪者にも安全で快適なまちづくりを進めるため、パークアンドライドの拡充を図ることを記載しています。 ⇒11ページ施策③
18	東大路通の混雑時は、自転車も通れず、歩道はバス待ちの人々であふれかえっている。「ゆっくりと歩いて五感で楽しむまち」を目指すのであれば、まずは道路の幅を広げていただきたい（20歳代/女性/貞教）	東大路通のより安全な歩行空間を確保するための取組として、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」の取組を掲げています。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
19	車依存の社会からの脱却といっても、現行社会において車がなければ生活できないようにしたのは私たちだ。車社会に依存しながらも、東山区のあり方を検討していく方がよい（50歳代/男性/今熊野）	ご指摘を踏まえ、まちづくり方針を「来訪者はゆっくりと歩いて東山区の魅力を堪能し、区民は過度なクルマの利用を抑制するなど、だれもが「かしこいクルマの使い方」を考え、東山区の快適な過ごし方を実践し、」と修正しました。 ⇒7ページ未来像2のまちづくり方針の1～7行目
20	車の流入規制が何よりも必要。京都市全体としてパークアンドライドを通年で徹底させる必要がある（50歳代/女性/修道）	「歩くまち・京都」総合交通戦略において、パークアンドライドの通年実施の方向性が示されています。計画においても、具体的な取組事例に掲げています。 ⇒12ページ施策③の取組項目10の枠内
21	東大路通の交通渋滞の緩和は、全体の交通政策と関わって考えていく必要がある（60歳代/男性/今熊野）	東大路通の交通渋滞緩和策として、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」を取組項目に掲げていますが、具体化に当たっては、ご指摘のとおり、広く市全体の交通政策の中で検討していく必要があると考えます。
22	自家用車の規制を（60歳代/男性/弥栄）	マイカー利用の抑制を図ることが必要であり、そのためには、公共交通の利便性の向上などさまざまな施策が必要であると考えます。
23	交通問題、車の市内への乗り入れ制限を一日も早く望む（70歳代/女性/今熊野）	交通問題は、市民生活や経済活動など、さまざまな要素を勘案しながら検討することが必要です。「歩くまち・京都」憲章の理念にのっとり、市民及び来訪者などすべての人が行動していくことが大切だと考えます。
24	脱クルマ社会を目指した方針はすばらしい（40歳代/男性/清水）	交通問題は、市民生活や経済活動など、さまざまな要素を勘案しながら検討することが必要です。「歩くまち・京都」憲章の理念にのっとり、市民及び来訪者などすべての人が行動していくことが大切だと考えます。

25	駐車場をもっと増やすことにより、混雑がなくなるのでは いか（50歳代/男性/清水）	観光地での駐車場増設は、車両の流入を呼び込むことにつな がることから、周辺部でのパークアンドライドの充実などが有 効であるかと考えます。
26	住民にとって、観光の推進は、交通渋滞を引き起こすなど迷 惑することが多い（50歳代/女性/-）	観光シーズンにおける交通渋滞は、区民の生活に大きく影響 しており、特に東大路通の交通渋滞緩和は、重要な課題である と考えます。

未来像3・まちづくり方針「経済活動と市民生活の調和」（8ページ）

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
27	東山の伝統産業（陶磁器、扇子など）に特別な支援を（60歳 代/女性/今熊野）	京焼・清水焼や京扇子などの伝統産業の活性化に向けて、さ まざまな事業に取り組むこととしています。 ⇒15ページ施策⑦
28	東山区に特にこれといった地場産業がない。役所ももっと積 極的に動き、区民に提案してはどうか（50歳代/男性/今熊野）	区民と行政との協働による取組により、伝統産業の活性化や 東山の個性を生かした新産業を創出し、にぎわいのあるまちを 目指しています。 ⇒15ページ施策⑤⑥⑦
29	京都の伝統地場産業は、資源のない不便な中で最高のものを 作ってきた。このままでは、継ぎ手がいなくなり、技術が消え てなくなる（70歳代/女性/今熊野）	ご指摘を踏まえ、まちづくり方針を「区内の伝承すべき「匠 の技」と「区民の知恵」を次世代へ確実につなぎ、」と修正 し、伝統産業の継承を盛り込みました。 ⇒8ページ未来像3のまちづくり方針の1～3行目
30	観光政策に重きを置き過ぎ。街の風情を壊す観光政策にはス トップをかける必要がある（30歳代/女性/弥栄）	観光と住民生活とが調和するまちづくりを進めることが大切 であると考えます。
31	東山の飲食業や伝統産業は消滅の危機に瀕している。せめ て、伝統産業トップクラスの石川県並みの緊急な抜本的知恵が 必要（60歳代/男性/月輪）	伝統産業の活性化は重要な課題であると考えており、他府県 の例も参考にしながら、京都市の特性を生かした施策を進める ことが必要であると考えます。
32	「東山を愛する人々を味方に付けて」とあるが、まちづくり のなかで「味方に付けて」という表現はそぐわない（50歳代/男 性/清水）	「東山を愛する人々を味方に付けて」とは、区民、事業者、 行政と共に、来訪者も心をつなげて、東山区の更なる発展に 協働で取り組むことを期待して表現したものです。

未来像4・まちづくり方針「多世代共助社会の実現」（8ページ）

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
33	子育て支援を進めてほしい（30歳代/女性/弥栄）	少子化対策は、東山区にとって喫緊の課題であると考え、重 点プロジェクトの一つとして掲げています。 ⇒30ページ重点プロジェクト4

34	区民の強い絆という面では、東山区はどこの区にも負けていない。この地域力を生かしたまちづくりこそ、東山区民しか出来ないまちづくりだと思う（40歳代/女性/清水）	これまで、区民の高い住民自治の精神の下、まちづくりが進められてきたと考えます。計画では、それを東山区の強みとして捉え、最大限生かしてまちづくりを進めていくこととしています。 ⇒5ページ（まちづくりの理念）
35	多世代がともに助けあう東山の実現が必要（50歳代/男性/新道）	少子高齢化が著しく進む東山区において、世代を超えて触れ合い支え合うことは大切であると考え、まちづくり方針に「多世代共助社会の実現」を掲げています。 ⇒8ページ未来像4のまちづくり方針
36	具体的に高齢者をどう支えるかが大事（60歳代/女性/今熊野）	高齢者が生きがいをもっていきいきと暮らせる環境づくりを掲げ、取組項目の具体化を進めていきます。 ⇒19ページ施策⑫
37	老人施設（ホームやデイサービス等）と子どもの施設（保育園や児童館など）が同じ敷地内にあり、常に交流して支え合えるようになってほしい（50歳代/女性/今熊野）	多世代交流の施策の一つとして有効と考えられます。今後具体化に向けた検討を進めることが必要であると考えます。
38	小学校を残し、子どもと高齢者が近くで交流できることが望ましい（60歳代/女性/今熊野）	子どもと高齢者の交流を図るため、多様な交流の場や機会を創出することが必要と考えます。
39	多世代交流は今でもいろいろと取り組まれている（50歳代/女性/ー）	これまでの地域における多世代交流の取組を踏まえ、一層の充実を努めることが必要であると考えます。

3 東山区が今後10年間に進める施策と取組項目

自然環境（9～12ページ）

施策① 環境にやさしい「東山流ライフスタイル」の推進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
40	寺院、教会など宗教施設で持ち回りの文化講座を依頼してはどうか（60歳代/男性/一橋）	東山区の魅力を再発見し、生涯学習の場として宗教施設を活用することは、東山区の強みを生かした取組になるものと考えます。
41	増え続ける自動販売機の規制を（70歳代/女性/今熊野）	自動販売機の中には、まちの景観に配慮した色彩の機器や災害時に飲料提供が可能な機器などもあり、そうした機器への転換などを進めることが必要であると考えます。
42	環境にやさしい暮らしを実践し、伝える（40歳代/男性/清水）	環境にやさしい生活様式の転換など、個人や地域ぐるみでの取組の推進が必要です。

施策② 次世代へ豊かな自然や里山を引き継ぐ取組の普及

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
43	東山三十六峰のカシ枯れを止める具体的な取り組みが必要 (60歳代/女性/今熊野)	ご指摘を踏まえ、施策②に「近年深刻化するナラ枯れの対策に積極的に取り組み、」を追記しました。 ⇒11ページ施策②の3～4行目
44	東山のナラ枯れについて京都市は対応を強めてほしい (60歳代/男性/月輪)	ご指摘を踏まえ、施策②に「近年深刻化するナラ枯れの対策に積極的に取り組み、」を追記しました。 ⇒11ページ施策②の3～4行目
45	東山のカシ枯れ問題に一日も早く対策を (70歳代/女性/今熊野)	ご指摘を踏まえ、施策②に「近年深刻化するナラ枯れの対策に積極的に取り組み、」を追記しました。 ⇒11ページ施策②の3～4行目
46	東山山麓のナラ枯れ等の問題がある。山を管理する人の高齢化等で木々の管理状態が悪くなった。行政が市民、区民参加を提言し、早急に対策・行動を起こすべき (50歳代/男性/今熊野)	ご指摘を踏まえ、施策②に「近年深刻化するナラ枯れの対策に積極的に取り組み、」を追記しました。 ⇒11ページ施策②の3～4行目
47	小・中学生、大学生、老人と観光客も交え、寺社と一体となって東山を守るイベントを実施してはどうか (70歳代/男性/清水)	区民、事業者、行政だけでなく、来訪者も一体となって、東山の特性を生かした事業に取り組むことは、地域の活性化につながると考えます。
48	東山の緑を守るための活動 (カシノナガキクイ虫退治等) に対して行政の支援がほしい (60歳代/女性/今熊野)	森林景観の保全のため、ナラ枯れ対策には、官民あげた取組が必要です。適切な役割分担のもと、十分な対策がとれるよう支援策を含めた検討が必要です。
49	ナラ枯れの対策として、ボランティアで清掃やカシノナガ退治をしているが、予算をつけてほしい (60歳代/女性/今熊野)	森林景観の保全のため、ナラ枯れ対策には、官民あげた取組が必要です。適切な役割分担のもと、十分な対策がとれるよう支援策を含めた検討が必要です。

施策③ 自然に親しみ環境に負荷をかけない観光の推進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
50	東大路通に傾いていたり狭くて歩きにくい歩道がある (—/—/—)	東大路通のより安全な歩行空間を確保するための取組として、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」の取組を掲げています。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
51	今熊野バス停とその周囲の整備を望む (70歳代/女性/今熊野)	ご指摘を踏まえ、施策③に「バス等の待合場所の環境整備などにより、」を追記し、取組事例にも「バス待ち環境等の整備」を記載しました。 ⇒11ページ施策③の6行目、12ページ施策③の取組項目10の枠内

52	便利で早く利用できるようバスの待合場所の整備をしてはどうか（20歳代/女性/清水）	ご指摘を踏まえ、施策③に「バス等の待合場所の環境整備などにより、」を追記し、取組事例にも「バス待ち環境等の整備」を記載しました。 ⇒11ページ施策③の6行目、12ページ施策③の取組項目10の枠内
53	JR東大路駅の実現（70歳代/男性/今熊野）	区民及び来訪者の利便性の向上や地域の活性化に向けて、新駅の設置検討を含めた既存公共交通（バス、鉄道）のネットワークの整備は重要であり、更なる検討が必要であると考えます。
54	JR東大路駅を一日も早く設置してほしい（70歳代/女性/今熊野）	区民及び来訪者の利便性の向上や地域の活性化に向けて、新駅の設置検討を含めた既存公共交通（バス、鉄道）のネットワークの整備は重要であり、更なる検討が必要であると考えます。
55	五条坂交差点付近の歩道・交通整備をする必要がある（70歳代/男性/清水）	東大路通の歩行空間を確保するため、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」を取組項目に掲げており、東山五条交差点についても、今後、取組を進める中で検討を図ることになると考えます。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
56	J R 東大路駅建設が実現されれば、J R →市バスと京都駅からの乗り継ぎが便利になり、今熊野の活性化にもつながるのでは（60歳代/男性/今熊野）	区民及び来訪者の利便性の向上や地域の活性化に向けて、新駅の設置検討を含めた既存公共交通（バス、鉄道）のネットワークの整備は重要であり、更なる検討が必要であると考えます。
57	東大路通の市バス五条坂北行きのバス停を日常的に移動させ、スムーズな降車・乗車対策を取る（70歳代/男性/修道）	東大路通の歩行空間を確保するため、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」を取組項目に掲げており、ご指摘のバス停移動についても、今後、取組を進める中で検討を図ることになると考えます。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
58	東山区全体の活性化のため、J R 東大路駅の建設を具体的に計画に入れるべき（70歳代/男性/今熊野）	区民及び来訪者の利便性の向上や地域の活性化に向けて、新駅の設置検討を含めた既存公共交通（バス、鉄道）のネットワークの整備は重要であり、更なる検討が必要であると考えます。
59	便利で利用しやすい公共交通を充実させる。小型のコミュニティーバスなども導入して利便性を向上させてほしい（50歳代/女性/修道）	主要交通網が発達する東山区ですが、区内山間部においては、日常の交通手段について課題があると考えます。区民の生活環境を整えるための施策について、今後検討することが必要であると考えます。

60	バスの案内板に外国語表示を取り入れる (20歳代/女性/清水)	ご意見については、市全体として取り組むことが必要であると考えます。計画に示した施策⑨「東山の自然や文化を堪能し、ゆったりと過ごす観光の推進」に基づき、外国語表示や車内アナウンスの充実など外国人観光客の利便を高める取組が必要であると考えます。 ⇒15ページ施策⑨
61	観光地の案内表示をよりわかりやすい場所に表示する。ホッと休める椅子・ベンチを整備してはどうか (20歳代/女性/清水)	ご意見については、市全体として取り組むことが必要であると考えます。計画に示した施策⑨「東山の自然や文化を堪能し、ゆったりと過ごす観光の推進」に基づき、こうした取組を具体化する必要があると考えます。 ⇒15ページ施策⑨
62	観光バスとタクシーのみの交通タイムを作る (10:00～16:00) (60歳代/男性/一橋)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
63	鴨川と疏水路の散歩道の整備 (花壇の活用) (60歳代/男性/一橋)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
64	東大路通の歩道拡幅で車の渋滞が増えるのではないか。バス、地元の車以外は通行止めにする、一方通行にする等の対策を (60歳代/男性/清水)	東大路通の歩道拡幅を推進するためには、現在の交通量を削減することが必要となっています。東大路通を含めた周辺道路を面的に捉え、規制、誘導等あらゆる対策の検討が必要であると考えます。
65	交通問題解決策として、市バス202号、207号のルートを京都駅八条口へ回遊させる (70歳代/男性/今熊野)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
66	観光地内に電気自動車を巡回させ、自家用車・タクシーの乗入を制限する (70歳代/女性/六原)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
67	観光客のための徒歩での地図を作成し配布する (交通の便のお知らせと併せて) (60歳代/女性/今熊野)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
68	京都駅から地下鉄が走れば良い (60歳代/女性/今熊野)	計画には、既存公共交通 (バス、鉄道) のネットワークの整備検討を掲げています。より利便性の高い公共交通を目指した取組が必要であると考えます。
69	東大路通の七条から五条間の東側歩道は歩行困難。観光シーズンには交通規制を特定の時間帯に行うなどの対策を (90歳代/男性/今熊野)	東大路通の歩行空間を確保するため、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」を取組項目に掲げています。あわせて、規制、誘導等あらゆる対策の検討が必要であると考えます。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
70	観光バスの東大路通から五条坂への進入禁止 (歩行者の安全確保) (70歳代/男性/修道)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
71	観光シーズンに市バスの本数を増やしてはどうか (50歳代/男性/清水)	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。

72	区内循環バスの設置をしてはどうか（40歳代/男性/清水）	主要交通網が発達する東山区ですが、区内山間部においては、日常の交通手段について課題があると考えます。区民の生活環境を整えるための施策について、今後検討することが必要であると考えます。
73	観光シーズンの東大路通の一方通行、または通行止め（路線バスを除く）（40歳代/男性/清水）	環境に負荷を掛けない観光の推進に向けて、いただいたご意見を参考にさせていただき、引き続き検討を進めます。
74	東山の見どころを載せたマップをコンビニなどに置いてもらうのはどうか。マップにバス停の位置や飲食店を載せる。バスの日乗車券に観光地を案内表示する（〇〇寺→市バス□□番→△△寺のように）（30歳代/女性/-）	ご意見については、「歩いて楽しむ東山」の実現に向けて、公共交通を利用したゆったりと過ごす観光を進める中で、参考とさせていただきます。
75	東大路通の車線縮小をしても、観光客は車でくるのではないか（50歳代/女性/-）	東大路通の歩道拡幅を推進するためには、現在の交通量を削減することが必要となっています。東大路通を含めた周辺道路を面的に捉え、規制、誘導等あらゆる対策の検討が必要であると考えます。

施策④ 区民も来訪者も心安らぐ、美しいまちづくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
76	街路樹を増やす（20歳代/女性/清水）	美しいまちづくりを進めるためには、ご意見のとおり街路樹をはじめとした身近な緑の豊かさも大切な要素であると考えます。
77	ごみ拾いなどの地域活動への協力をしていく（50歳代/男性/清水）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。
78	家の周りの掃除や水まきを実践する（60歳代/女性/今熊野）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。
79	ごみ問題について、企業に対し、売った後の処理等も見定められた方針を持つように言うべき（70歳代/女性/今熊野）	ごみの減量に向けて、事業者においても取り組むことが必要であると考えます。
80	東山区民、企業参加による一斉清掃の実施など。美しい東山区を目指す（40歳代/男性/清水）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。
81	自然環境の保全。美しいまちづくりに取り組みたい。外に出たときには、路上に落ちているごみなどを見つけたら拾って、ごみの散乱のないまちづくりに協力したい（40歳代/男性/清水）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。

82	観光客が気持ちよく過ごしていただくことができるように、散乱ごみのないまちを目指し、家庭からも自然に負担をかけないよう、ごみの減量に努めたい（30歳代/女性/-）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。
83	ごみを出さない。ごみを見つけたら拾うようにしていく（30歳代/女性/-）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。
84	「7～9月の毎週月曜日の朝10時にできる人は家の前に水をまく」など、活動内容や時間が決まっていれば参加しやすいのではないかと（30歳代/女性/-）	計画では、美しいまちづくりに向けて、区民、地域、事業者、行政がそれぞれ取り組んでいくこととしており、取組の結果が美しいまちを築くだけでなく、地域コミュニティの活性化にもつながることを期待します。

産業・観光（13～16ページ）

現状と課題

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
85	「大企業が少なく、経済活動に偏りがあります」と記述されているが、小規模事業こそが経済活動の主人公である（60歳代/男性/月輪）	ご指摘の箇所は、大企業の誘致を目指すことを記したものではありませんが、ご指摘を踏まえ、産業・観光の現状を「小売業やサービス業の割合が高く、小規模事業所が東山区の経済を支えています」と修正しました。 ⇒13ページ現状と課題の1番目の項目

施策⑤ 東山の個性を生かした新産業の創出

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
86	窯がいろいろあるので、空家などを利用して陶器や地元のお菓子などの販売所をつくってはどうか（30歳代/女性/-）	東山区の特色を生かした具体的な産業の創出に向けて、いただいたご意見を参考にしながら、今後も引き続き検討を進めていきます。

施策⑥ 地域の個性を生かした新たな地域活性化策の展開

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
87	統合後の学校跡地の活用の1つとして、地域住民以外の人々も安く借りて、演劇や音楽活動など取り組めるようなスペースを確保してほしい（50歳代/女性/今熊野）	統合後に発生する学校跡地は、地域の活性化にとって重要な資産であり、その活用については、長期の展望をもって十分な検討が必要であると考えます。演劇や音楽などの文化活動については、区民ニーズを十分に踏まえ、さまざまな既存施設の活用も含め、検討されるべきものと考えます。

88	芸術のまちとして、若い作家さん達の作品を発表できる場がたくさんあればいいと思う（30歳代/女性/ー）	統合後に発生する学校跡地は、地域の活性化にとって重要な資産であり、その活用については、長期の展望をもって十分な検討が必要であると考えます。また、区民ニーズを十分に踏まえ、さまざまな既存施設の活用も含め、検討されるべきものと考えます。
89	学校跡地を駐車場と地域のために有効利用してはどうか（40歳代/男性/清水）	統合後に発生する学校跡地は、地域の活性化にとって重要な資産であり、その活用については、長期の展望をもって十分な検討が必要であると考えます。また、区民ニーズを十分に踏まえ、さまざまな既存施設の活用も含め、検討されるべきものと考えます。

施策⑦ 確かな技と新たな感性の融合による伝統産業の活性化

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
90	東山の文化を継承する人が、文化を伝道するしくみや場所があればよいと思う（70歳代/男性/清水）	ご指摘を踏まえ、施策⑦の取組項目に「伝統産業の魅力の全国への発信」を追加しました。 ⇒15ページ施策⑦の取組項目23
91	地場産業の活性化を図るため、製品の魅力アピール、後継者の発掘・育成について情報発信を続けたい（40歳代/男性/清水）	ご指摘を踏まえ、施策⑦の取組項目に「伝統産業の魅力の全国への発信」を追加しました。 ⇒15ページ施策⑦の取組項目23
92	清水焼をもっとアピールできたらよいと思う（30歳代/女性/清水）	ご指摘を踏まえ、施策⑦の取組項目に「伝統産業の魅力の全国への発信」を追加しました。 ⇒15ページ施策⑦の取組項目23
93	京焼・清水焼の地場産業を一堂に見学できる場（京焼・清水焼会館、美術館）を建設してほしい（60歳代/男性/六原）	伝統産業を継承し、活性化を図るためには、区民をはじめ来訪者にも伝統産業の魅力を伝え、理解を求めていくことが大切であると考えます。ご意見については、今後の取組への反映を検討します。
94	陶器、陶磁器等の歴史博物館の建設を。陶芸体験できる場をつくり、観光コースにも加えれば観光客にも喜ばれると思う（70歳代/女性/六原）	伝統産業を継承し、活性化を図るためには、区民をはじめ来訪者にも伝統産業の魅力を伝え、理解を求めていくことが大切であると考えます。ご意見については、今後の取組への反映を検討します。
95	統廃合で廃校になった学校跡地の利用案として、焼物の総合的な美術博物館を建設して、展示だけでなく様々な体験ができる施設として利用してはどうか（70歳代/男性/清水）	統合後に発生する学校跡地は、地域の活性化にとって重要な資産であり、その活用については、長期の展望をもって十分な検討が必要であると考えます。また、区民ニーズを十分に踏まえ、さまざまな既存施設の活用も含め、検討されるべきものと考えます。
96	陶器まつりに陶器以外の品の出品などをすれば賑やかになると思う（70歳代/女性/六原）	伝統産業を継承し、活性化を図るためには、区民をはじめ来訪者にも伝統産業の魅力を伝え、理解を求めていくことが大切であると考えます。

97	東山の伝統産業、扇骨、陶磁器などの零細企業への積極的な財政補助は、地域活性化のためには不可欠なのは（90歳代/男性/今熊野）	伝統産業を継承し、活性化を図るためには、区民をはじめ来訪者にも伝統産業の魅力を伝え、理解を求めていくことが大切であると考えます。ご意見については、今後の施策への反映を考えていきます。
----	--	---

施策⑧ 魅力とにぎわいのある商店・商店街づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
98	高齢者の足の確保を考えるとともに、地元で買物できるまちづくりを望む（60歳代/女性/今熊野）	消費者のニーズに対応した地域に根差した商店・商店街づくりを目指して、「高齢者や障害のあるひとへの宅配サービス等の促進」に取り組むこととしています。 ⇒15ページ施策⑧の取組項目24
99	空き店舗を活用したチャレンジショップに取り組みたい（30歳代/男性/今熊野）	商店や商店街の活性化を目指す取組として、「空き店舗を活用した「商い人」の育成」を掲げ、商店の担い手づくりに取り組むこととしています。 ⇒15ページ施策⑧の取組項目25
100	お年寄りや障害者の買物支援のためのコミュニティバスやタクシーの設置に対して、行政の支援が必要（90歳代/男性/今熊野）	計画では、「高齢者や障害のあるひとへの宅配サービス等の促進」などを掲げており、ご意見については、施策を進める中で、反映について検討を進めます。 ⇒15ページ施策⑧
101	シャッターに絵画を飾り、商店街の暗いイメージを一掃してはどうか（60歳代/男性/一橋）	閉店された店舗の活用と併せて、商店街のイメージアップの取組を進めることは重要であると考えます。
102	商店の再活用として、産地直売所を3箇所創設してはどうか（60歳代/男性/一橋）	高齢者が多く、傾斜の急な地形を抱える地域であることを踏まえ、高齢者などの買物環境の改善に向けて、ご意見のような直売所の創設等、事業主と行政が知恵を出し合い、さまざまな検討を進めることが必要であると考えます。

施策⑨ 東山の自然や文化を堪能し、ゆったりと過ごす観光の推進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
103	東山区の景観を生かした観光による発展を希望する（70歳代/男性/今熊野）	計画では、自然景観や寺院・神社、文化、伝統工芸など、東山区の「ほんものの」魅力を生かした観光の推進を掲げています。 ⇒15ページ施策⑨
104	町並みを楽しむためにもゆっくりとした観光をしてもらい、東山区の良い所を散策してもらおう地域づくりを進められたらよいと思う（40歳代/男性/清水）	計画では、東山のほんものの「もてなし」や「味」、「匠の技」などを肌と心で感じ、ゆっくりと滞在していただく観光の推進を掲げています。 ⇒15ページ施策⑨

105	観光客のマナーの悪さを改善してほしい（10歳代/男性/弥栄）	計画では、東山区の文化や暮らしを理解していただく施策を進め、来訪者のマナーアップにつながるよう考えていますが、今後も具体的な取組を検討していく必要があると考えます。
106	外国人のマナーの問題（30歳代/女性/弥栄）	計画では、東山区の文化や暮らしを理解していただく施策を進め、来訪者のマナーアップにつながるよう考えていますが、今後も具体的な取組を検討していく必要があると考えます。
107	観光客のマナーの悪さを改善してほしい（20歳代/男性/弥栄）	計画では、東山区の文化や暮らしを理解していただく施策を進め、来訪者のマナーアップにつながるよう考えていますが、今後も具体的な取組を検討していく必要があると考えます。
108	子供にやさしい観光地の推進や文化財を火災から守るため、社寺仏閣や学校周辺、特に伝建保存地区を禁煙にする（50歳代/男性/清水）	タバコによる子どもへの危害防止、受動喫煙による健康被害の防止などの観点から、京都市では路上喫煙禁止区域を定めています。観光地であり、文化財も多数ある東山区への区域拡大について検討が必要であると考えます。
109	5カ国くらい（中国・英・佛・韓・スペイン）のパンフレットをお寺などの協力を得て作ってはどうか（70歳代/男性/今熊野）	東山区には、毎年、国内外から多くの方が来訪されます。外国の方にも東山区の魅力を理解し、ゆっくりした滞在型の観光を進めるため、ご意見のような取組について、今後も引き続き検討が必要であると考えます。
110	東山区は、まちなかに坂が多く、他の区にはない地理的特徴である。高齢者にとっては不便なものだが、これを逆に長所としてPRできるような景観面での取組をしてはどうか（50歳代/男性/清水）	歩行が困難な山間部の地理的特徴を、課題としてのみ捉えるのではなく、一つの個性として考え生かしていくという発想を参考にして、今後の施策への反映を検討することは意義があると考えます。
111	ヘリコプター観光計画は騒音による環境破壊など不適切だ（80歳代/男性/新道）	ご意見については、東山区の観光のみにかかわらず本市の観光振興を検討する中で、議論すべきであると考えます。
112	住民として観光客を心から歓迎する重要性を認識し、発展に心掛けたい（70歳代/男性/今熊野）	来訪者を心から歓迎することは市民の取組として大切であり、計画にもそうした考え方を盛り込んでいます。 ⇒15ページ施策⑨
113	東山トレイルコースの利用者を温かく見送ることから、観光事業への協力をしていきたい（60歳代/男性/今熊野）	来訪者を温かく迎えおもてなしをする取組は、区民ひとりひとりや事業者、行政が、それぞれの立場で考え行動することが大切であり、計画にもそうした考え方を盛り込んでいます。 ⇒15ページ施策⑨、16ページ施策⑨の取組事例
114	「また訪れたいまち・東山」にぜひなれるよう期待したい（40歳代/女性/清水）	来訪者を温かく迎えおもてなしをする取組は、区民ひとりひとりや事業者、行政が、それぞれの立場で考え行動することが大切であり、計画にもそうした考え方を盛り込んでいます。 ⇒15ページ施策⑨、16ページ施策⑨の取組事例
115	「ゆったりと過ごす観光の推進」とあるが、「何度でも訪れたい」というためには、どうあるべきかを具体的にあげるべき（50歳代/男性/清水）	おもてなしの心で観光者を迎えるため、区民の皆さんと行政が共に、計画に掲げた取組の一層の具体化に向けた検討が必要です。

保健・福祉・教育（17～20ページ）

施策⑩ 子どもたちが個性を生かし、いきいきと育つ環境の充実

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
116	学校の統合について、最新の設備と教材で多くの仲間と競い合い助け合う教育環境をつくっていただきたい（40歳代/男性/今熊野）	計画では、本格的な小中一貫教育を推進し、ひとりひとりの子どもたちの学力を高め、豊かで健やかな心身を育む教育の一層の充実を図ることを掲げています。 ⇒19ページ施策⑩
117	小学校の統合で、それぞれの学校の個性を集め、いい面は残しながら、最高の教育環境をつくってほしい。そうすれば、若い世代も東山に住み、人口が増えれば商店も活気づくと思う（50歳代/男性/新道）	計画では、本格的な小中一貫教育を推進し、ひとりひとりの子どもたちの学力を高め、豊かで健やかな心身を育む教育の一層の充実を図ることを掲げています。元学区や学校の個性をいかに残していくかも大きな課題であると考えています。 ⇒19ページ施策⑩
118	小中一貫教育について、子どもたちが少なくなっている現在、子どもたちの視野を広げるためにも、大変よいことだと思う。いろいろな仲間と一緒に勉強し、目標を持ってのびのびと育ってほしい（30歳代/女性/清水）	計画では、本格的な小中一貫教育を推進し、ひとりひとりの子どもたちの学力を高め、豊かで健やかな心身を育む教育の一層の充実を図ることを掲げています。 ⇒19ページ施策⑩
119	学校が遠くなると通学路安全のための見守り隊等活動もしにくくなり、学童保育も遠くなり目が届かず安全に不安だ（60歳代/女性/今熊野）	計画に掲げた施策⑩「子どもたちが個性を生かし、いきいきと育つ環境の充実」を踏まえ、学校統合に伴う通学路の安全確保や学童保育などの課題について、地域と行政との協議の下、安全確保に向けて具体的な取組を進めることが必要だと考えます。 ⇒19ページ施策⑩
120	子どもの通学が大変になるため、地域の尽力で学校を増やしたが、また統合するのはおかしい。交通の面でも危険な上、学童や児童館はどうするのか（60歳代/女性/今熊野）	計画に掲げた施策⑩「子どもたちが個性を生かし、いきいきと育つ環境の充実」を踏まえ、学校統合に伴う通学路の安全確保や学童保育などの課題について、地域と行政との協議の下、安全確保に向けて具体的な取組を進めることが必要だと考えます。 ⇒19ページ施策⑩
121	子どもたちが住みやすいまちにしたい（30歳代/男性/清水）	区民の皆さんから、「子どもたちがいきいき育つ環境」を望む声をたくさんいただきました。計画にもそうした考え方を盛り込みました。 ⇒19ページ施策⑩
122	学校を絶対残してほしい。若い人が帰ってくるまちにしたい（60歳代/女性/今熊野）	区民の皆さんから、「若い世代が住みやすいまち」を望む声をたくさんいただきました。委員会においても、若い世代が住みやすくするために必要な施策について、子どもの育つ環境も含めて検討を進め、計画にも盛り込みました。 ⇒19ページ施策⑩

123	子や孫が元気に育つまちになるよう、少年補導や地域のおやじとしての活動を続けたい（50歳代/男性/新道）	若い世代が子育てしやすく、子どもが元気にいきいきと育つ環境づくりは、区民ひとりひとりが身近な地域で取り組むことが重要であると考えます。そのためにも、多くの方が、ご意見のような活動をしていただける環境づくりに努めることが必要です。
124	小中一貫校教育について住民議論を再度する必要がある（60歳代/男性/今熊野）	小中一貫教育の推進は、少子化により小規模校化している現状を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって、豊かで健やかな心身を育む教育のより一層の充実につながると考えます。
125	「地域の子どもは地域で育てる」という命題が真実なら、小中学校の統廃合を撤回してもらいたい（90歳代/男性/今熊野）	「地域の子どもは地域で育てる」は、少年補導やおやじの会などの取組、通学路の見守り活動など、学校教育だけでない多様な取組を通じて、地域が子どもを育てるという趣旨で掲げたものであります。
126	小中一貫校は、学区の教育・福祉のまちづくりをつぶし、大規模校で子どもの教育を破壊する危険があるため、この委員会ですべて十分議論すべきではないか（70歳代/男性/今熊野）	小中一貫教育の推進は、少子化により小規模校化している現状を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって、豊かで健やかな心身を育む教育のより一層の充実につながると考えます。統合は地域やPTAの要望を受けた方針であると理解しています。また、教育内容については、策定委員会での議論になじまないものと考えます。
127	小中一貫校計画により、地域コミュニティが破壊され、子どもたちも遠くの学校への通学や、大規模校でのいじめや学校の荒れなどが起こる。地域と子どもたちにとっての議論を（60歳代/女性/今熊野）	小中一貫教育の推進は、少子化により小規模校化している現状を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって、豊かで健やかな心身を育む教育のより一層の充実につながると考えます。また、教育内容や教育現場での課題は、策定委員会での議論になじまないものと考えます。
128	地元の学校で地域に守られて成長する子どもたちがお年寄りを励まし、小規模校で責任を分担すればこそ子どもの成長も促される。「まちづくり」の中心となる学校が統廃合となるのは本末転倒（50歳代/女性/修道）	小中一貫教育の推進は、少子化により小規模校化している現状を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって、豊かで健やかな心身を育む教育のより一層の充実につながると考えます。今後も、通学路の見守り活動など、地域で子どもを育てるまちづくりを進めていくことが必要です。
129	少子化は自然現象からではない。今の現状だけで学校統廃合は急いで行うべきではない（70歳代/女性/今熊野）	小中一貫教育の推進は、少子化により小規模校化している現状を踏まえ、次代を担う子どもたちにとって、豊かで健やかな心身を育む教育のより一層の充実につながると考えます。

施策⑩ 若い世代が住みやすく、子育てしやすい環境づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
130	若い世代には少し住みにくい地域もあるので、そこを重点的に活性化すれば、よりよいまちづくりができるのでは（40歳代/男性/-）	若い世代が住みやすいまちづくりを目指し、子育て環境や住環境の整備など、多方面にわたる施策を記載しており、今後、その具体化を進めることが必要です。 ⇒19ページ施策⑩

131	各関係機関のネットワーク連携が必要。保育・教育・医療支援機関が分かれており、市民にとって相談場所がわかりにくく、継続的な支援がしにくい (20歳代/女性/清水)	ご指摘を踏まえ、施策⑩に「関係機関相互の連携を強化するとともに、」を追記しました。 ⇒19ページ施策⑩の2行目
132	小さな子どもがいる母親が孤立しないために、地域出張型の交流会の実施や子育て支援情報の街中への掲示をしてはどうか (20歳代/女性/清水)	計画では、「地域に根差した子育てネットワークの拡充と子ども・子育て情報の充実」を取組項目に掲げています。ご意見については、具体的な取組を進めるうえで、参考とさせていただきます。 ⇒19ページ施策⑩の取組項目34
133	人口減少対策として、建物高さを2段階式5階建てまで認め、移住者や2世代住宅への減税・援助などによる誘導策をしてはどうか (70歳代/-/-)	計画では、子育て世代の住環境整備についてうたっており、ご意見を参考に、さまざまな検討が必要であると考えます。 ⇒19ページ施策⑩
134	少子長寿化を脱却するため、統廃合の学校跡地に安価な住宅の整備をしてはどうか (40歳代/男性/清水)	計画では、子育て世代の住環境整備についてうたっており、ご意見を参考に、さまざまな検討が必要であると考えます。 ⇒19ページ施策⑩
135	住みやすいまちになれば若い人も増えていくと思う (30歳代/女性/-)	若い世代が住みやすいまちづくりを目指し、子育て環境や住環境の整備など、多方面にわたる施策を記載しており、今後、その具体化を進めることが必要です。 ⇒19ページ施策⑩
136	住みたくても地価が高く、若年層には住むことができない (50歳代/女性/-)	計画では、子育て世代の住環境整備についてうたっており、実現に向けてはさまざまな検討が必要であると考えます。 ⇒19ページ施策⑩

施策⑫ 高齢者や障害のあるひとが生きがいをもっていきいきと暮らせる環境づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
137	「今熊野いこいの家」の様な場所を設ける (気楽に寄れて、安い料金でお茶が飲めたり軽食ができたりするような施設) (60歳代/女性/今熊野)	計画では、「高齢者の身近な集いの場の整備」を取組項目に掲げており、セーフティーネットの構築も目指しています。 ⇒19ページ施策⑫の取組項目40
138	人が安心して気持ちよく集まれる場所をつくれれば、人との交流が生まれ、いろいろな取組に発展していける (20歳代/清水/女性)	人と人との交流、世代間の交流を進めるための場や機会の創出は大切な施策であると考えます。
139	高齢者・障害者へのサポートを雇用と結びつける (60歳代/男性/今熊野)	計画では、「福祉ボランティアの育成と地域で支え合える体制づくりの推進」を掲げていますが、ご指摘のとおり、そうした活動が雇用につながれば継続性が期待できると考えます。今後の施策への検討を進めます。 ⇒19ページ施策⑫の取組項目41
140	高齢者のための巡回コミュニティバスの走行 (20歳代/女性/清水)	主要交通網が発達する東山区ですが、区内山間部においては、高齢者の交通手段について課題があると考えます。区民の生活環境を整えるための施策について、今後検討することが必要であると考えます。

141	企業参加の送迎バス（路線バスの無い所のコミュニティバス）（-/-/-）	主要交通網が発達する東山区ですが、区内山間部においては、高齢者の交通手段について課題があると考えます。区民の生活環境を整えるための施策について、今後検討することが必要であると考えます。
142	老人ホーム（100坪単位）の設置（60歳代/男性/一橋）	高齢者が不安なくいきいきと暮らせるまちづくりのため、必要な施策について、今後とも検討を重ねていきます。
143	高齢者に対してもやさしいまちづくりが必要（50歳代/男性/今熊野）	高齢者が多く在住する東山区の重要なまちづくりの視点であり、具体的な取組に生かしていくことが必要です。

景観・都市基盤（21～24ページ）

施策⑭ 空家ゼロのまちづくりの推進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
144	空き家バンクの民間NPOによる委託運営をしてはどうか（30歳代/男性/今熊野）	現在、東山区では、モデル的に地元組織が地域のまちづくり活動の一環として、空き家の流通促進を図るための仕組みづくりが専門家等と連携して行われています。こうした取組から、「空家ゼロのまちづくり」に向けた取組が地域に広がるのではないかと期待します。
145	老朽化した住宅に対して、年金生活者でも借りられる住宅改良資金の貸付制度の新設を（60歳代/男性/一橋）	空き家が発生する要因に、所有者の高齢化と老朽化した住宅の改修費の不足が考えられます。こうした状況を踏まえ、ご意見について、今後の空き家対策への反映を検討する必要があると考えます。
146	空家の状況を見て回るなどしていきたい（40歳代/男性/清水）	空き家にしないためには、地域での取組も有効であると考えます。行政との適切な役割分担の下、空き家の把握と流通などへの地域の協力が必要です。
147	空家を低額で貸し出す（40歳代/男性/清水）	空き家にしないための手法として、流通面での工夫を図ることは必要であると考えます。

施策⑮ 木造文化を守り、災害に強いまちづくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
148	学校は町民の避難場所であり、高齢者も避難できるところだ（60歳代/女性/今熊野）	災害時の区民の安全確保は重要な課題であり、統合後の学校跡地も含め安全な避難場所を検討していくことが必要です。
149	一人住まいを含む高齢者が住む住宅の安全検査（電気系統、利用電気機器類その他）を行える体制確立を（60歳代/男性/一橋）	一般家庭の屋内電気設備の安全調査は、関西電力から委託された関西電気保安協会が定期的に行っています。電気機器類の保安については、地域での見守り活動や行政による啓発活動などが必要であると考えます。

150	「火の用心」などの活動により、「安全で快適な都市づくり」が成り立っていると思う（20歳代/女性/貞教）	東山区では、これまで自主防災会を中心に、消防団や行政が連携しながら、地域の防災活動が展開されており、安心安全なまちづくりが進められてきています。今後も関係機関が連携し、地域一体となった取組が必要であると考えます。
-----	---	--

施策⑯ 情緒豊かな町並み景観と路地文化の保存と創造

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
151	古くからの町並みを大切にしたい。新しい建物については、町並みにあった建造物であるかをチェック・指導できる制度が必要（40歳代/女性/弥栄）	京都市では、建築物等のデザインや高さについて、地域特性に応じた規制等により景観保全が進められています。風情ある町並みや自然景観は東山区の魅力であり、今後も、町並み保全に向けた取組は重要であると考えます。
152	学区・各町内会等で、美観・景観の保存と創造を提案し守ることを住民に意識付けることが必要（60歳代/男性/有済）	生活文化に根差した町並み景観を守るには、住民自らが地域のまちづくりを考えることが重要であり、そうした活動への支援策を検討することが必要であると考えます。
153	住民は町並み保全の都市づくりを学ぶことが大切（40歳代/女性/弥栄）	生活文化に根差した町並み景観を守るには、住民自らが地域のまちづくりを考えることが重要であり、そうした活動への支援策を検討することが必要であると考えます。
154	マンションの建設で東山が見えなくなっているのが残念だ（60歳代/女性/今熊野）	京都市では、建築物等のデザインや高さについて、地域特性に応じた規制等により景観保全が進められています。風情ある町並みや自然景観は東山区の魅力であり、今後も、町並み保全に向けた取組は重要であると考えます。
155	景観について、やっとな高さ制限等が打ち出されたが遅い（60歳代/女性/今熊野）	京都市では、建築物等のデザインや高さについて、地域特性に応じた規制等により景観保全が進められています。風情ある町並みや自然景観は東山区の魅力であり、今後も、町並み保全に向けた取組は重要であると考えます。
156	景観を大切にするのであれば、役所の都合で高さを緩和したりせず、高さ制限等を厳しくすべき（50歳代/男性/今熊野）	京都市では、50年後、100年後の将来を見据え、平成19年の新景観政策により、建築物等の高さ規制が強化されました。風情ある町並みや自然景観は東山区の魅力であり、今後も、町並み保全に向けた取組は重要であると考えます。

施策⑰ 歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
157	東大路通の歩道の拡幅、傾斜の多い歩道の改造が必要（70歳代/男性/今熊野）	東大路通の安全な歩行空間を確保するため、「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」の取組を掲げています。 ⇒11ページ施策③の取組項目11

158	車が多く渋滞している中、自転車が走れない。エコの点から考えてほしい(60歳代/女性/今熊野)	環境にやさしい自転車の利用推進に向けて、「安全、快適に通行できる道路空間の整備」を取組項目に掲げていますが、区内の道路幅員が狭いため、自転車専用道の確保が困難な状況があります。歩行者の安全も含めた総合的な検討が必要です。 ⇒23ページ施策⑰の取組項目52
159	自動車・自転車の無法な駐車，駐輪を現実的に完全になくすことは困難だが，景観を損なうような無秩序な状況は避けるべき(50歳代/男性/清水)	放置自転車をなくすため，これまでから交通安全対策協議会による啓発や，行政による撤去の強化や駅周辺等の駐輪場の整備を進めてきており，引き続きこれらの継続が図られるよう取組項目に掲げています。 ⇒23ページ施策⑰の取組項目54
160	自転車を乗る側のマナーの意識の向上(30歳代/女性/-)	歩行者と自転車利用者がお互いに心配りをするマナーアップを進めるため，「自転車利用マナー・ルール」の啓発活動の強化」を記載しています。 ⇒23ページ施策⑰の取組項目53
161	東大路通は自転車が走るにも危険を感じる。自転車を乗る側のマナー意識が問われる。標識等でわかりやすく，安全意識を持ち，安心して歩行できるまちづくりを目指してほしい(30歳代/女性/-)	ご指摘を踏まえ，施策⑰に「・・・凶るなどの対策を検討し，」と改訂を加え，取組事例に「安全，快適な道づくりの実現に向けて，地域で考え，関係機関と協力し活動する」を記載しました。 ⇒23ページ施策⑰の2行目，24ページ施策⑰の取組項目52の枠内
162	最近車が増えてスピードも出しており大変危ないので，安全対策が必要(30歳代/女性/清水)	ご指摘を踏まえ，施策⑰に「・・・凶るなどの対策を検討し，」と改訂を加え，取組事例に「安全，快適な道づくりの実現に向けて，地域で考え，関係機関と協力し活動する」を記載しました。 ⇒23ページ施策⑰の2行目，24ページ施策⑰の取組項目52の枠内
163	自転車走行禁止道路については外国人にもわかりやすく目立つ表示を行う。歩道の整備。花見小路通の自動車走行の制限(20歳代/女性/清水)	自転車の歩道走行などにより，歩道における歩行者の安全な歩行が妨げられる状況があります。計画では，施策⑰「歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路づくり」を掲げ，さまざまな取組を展開することとしています。ご意見については，事業を展開する段階で，参考とさせていただきます。 ⇒23ページ施策⑰
164	東大路通の自転車通行に関して何か具体的な改善策があればよい(20歳代/男性/清水)	東大路通の歩行空間を確保するため，「東大路通の自動車抑制と歩道拡幅の推進」を取組項目に掲げており，自転車走行に関する課題についても，取組を進める段階で検討する必要があると考えます。 ⇒11ページ施策③の取組項目11
165	レンタサイクルによる観光客のための駐輪場や自転車の通りやすい道路整備を(70歳代/男性/清水)	自動車の通行量を抑制し，「歩くこと」優先のまちづくりを進めていく中で，環境にやさしい自転車の利用もますます増加すると考えられます。ご意見については，今後の施策への反映を検討することが望ましいと考えます。

166	自転車専用通行レーン（ゾーン）の検討（50歳代/男性/今熊野）	自動車の通行量を抑制し、「歩くこと」優先のまちづくりを進めていく中で、環境にやさしい自転車の利用もますます増加すると考えられます。東山区内の道路幅員は狭く、専用道の設置が困難な状況がありますが、引き続き検討が必要であると考えます。
167	駐輪場の民間施設（空地）の活用への補助金の継続と、知らない人が多いと思うので区民への協力PRを（50歳代/男性/今熊野）	駐輪場への転用施策など駐輪場確保に向けた取組は、引き続き必要であると考えます。
168	東大路通の五条より南，東福寺周辺までの自転車走行用レーンの確立（60歳代/男性/一橋）	自動車の通行量を抑制し、「歩くこと」優先のまちづくりを進めていく中で、環境にやさしい自転車の利用もますます増加すると考えられます。東山区内の道路幅員は狭く、専用道の設置が困難な状況がありますが、引き続き検討が必要であると考えます。
169	東大路通の自転車通行が危険（50歳代/女性/一）	環境にやさしい自転車の利用推進に向けて、「安全、快適に通行できる道路空間の整備」を取組項目に掲げていますが、区内の道路幅員が狭いため、自転車専用道の確保が困難な状況があります。歩行者の安全も含めた総合的な検討が必要です。 ⇒23ページ施策⑰の取組項目52

施策⑱ だれもが支障なく活動できる生活環境の整備

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
170	行政とともに電線類を地中化していきたい（60歳代/男性/一橋）	町並み景観の保全と安全で快適な歩行空間の創出に向けて、電線類の地中化は有効な事業であり、整備適用範囲の拡大など、今後は施策の拡充に向けた検討が必要であると考えます。
171	電線類地中化の早期実現を（60歳代/男性/清水）	町並み景観の保全と安全で快適な歩行空間の創出に向けて、電線類の地中化は有効な事業であり、整備適用範囲の拡大など、今後は施策の拡充に向けた検討が必要であると考えます。

コミュニティ・自治（25～28ページ）

現状と課題

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
172	多世代共助を実現するためには、支援活動をする地域団体が個人情報把握することも必要であり、個人情報の入手・取扱に関するルールづくり，条例化も含めて早急に検討してほしい（30歳代/男性/今熊野）	ご指摘のとおり、近隣住民の関係の希薄化には、プライバシーに対する考え方も影響していると考えますので、現状に「・・・個人情報の保護について社会的関心の高まりもあって、」と追記しました。 ⇒25ページ現状と課題の2番目の項目の枠内2行目

施策⑱ 活発な世代間交流とお互いに認め合い支え合う風土づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
173	子どもと高齢者が共にいきいきとした社会をつくる環境づくりをしていきたい (70歳代/男性/今熊野)	子どもから高齢者まで世代間交流を進め、お互いに支え合いいきいきと過ごせるまちを目指し、「世代間交流ネットワークづくりの促進」を取組項目に掲げています。 ⇒27ページ施策⑱の取組項目56
174	歴史や生活、人付き合いなど、子どもとお年寄りが集うことで、伝承していけるような場があればいい (30歳代/女性/一)	地域の行事など、世代間交流ができる機会を活性化するため、「世代間交流ネットワークづくりの促進」を取組項目に掲げています。 ⇒27ページ施策⑱の取組項目56
175	町中ほっとスペースの確保。伝統行事にちなんだイベントの充実。人が集まれる空間があれば、自然と人と人の交流は生まれるのではないかと (20歳代/女性/清水)	人と人との交流、世代間の交流を進めるための場や機会の創出は大切な施策であると考えます。事業を運営するノウハウや人材、財政面などの課題を研究し、今後の施策への反映を考えていきます。
176	老人、若者等をインターネットで結びつけ、情報交換をスムーズにする (60歳代/男性/一橋)	情報通信手段の多様化を踏まえた貴重なご意見について、今後の施策の検討の参考にさせていただきます。
177	隣近所とお付き合い、ボランティアをしていきたい。自分自身の生きがいにもつながると思う (60歳代/女性/今熊野)	各自が身近な地域で、身近な人と支え合う活動を実践することで、地域一体となった活動へつながると思えます。お考えのような取組が広がるよう行政の支援策の充実を検討する必要があります。
178	地域力の向上については、身近な人同士の交流からはじめ、より多世代交流できる機会を地域全体で取り組んでいくことにより、向上につながると思う (30歳代/女性/清水)	各自が身近な地域で、身近な人と支え合う活動を実践することで、地域一体となった活動となり、地域力の向上につながると考えます。

施策⑳ 学区ぐるみで考える「わがまちづくり」の推進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
179	コミュニティは、そこに生活するすべての住民の基本であり、地域や世代間の交流は、まち全体を明るくし、活気を生み出す。そのことが、環境保護や福祉の充実につながるとともに、区民や来訪者も心安らぐ美しいまちづくりにつながる (50歳代/男性/一)	ご指摘を踏まえ、施策⑳に「近年は、マンション等の集合住宅の増加により、集合住宅特有の性質、ライフスタイルの多様化などから地域の関係づくりにも変化が生じています。」と追記し、取組項目に「地域とマンション等の集合住宅の住民との交流の促進」を追加しました。 ⇒27ページ施策⑳の3～5行目、取組項目61
180	マンション住民を地域活動に受け入れる体制づくりが大切 (30歳代/男性/清水)	ご指摘を踏まえ、施策⑳に「近年は、マンション等の集合住宅の増加により、集合住宅特有の性質、ライフスタイルの多様化などから地域の関係づくりにも変化が生じています。」と追記し、取組項目に「地域とマンション等の集合住宅の住民との交流の促進」を追加しました。 ⇒27ページ施策⑳の3～5行目、取組項目61

181	マンション住民と高齢者などとの交流不足が心配だ (60歳代/女性/今熊野)	ご指摘を踏まえ、施策⑳に「近年は、マンション等の集合住宅の増加により、集合住宅特有の性質、ライフスタイルの多様化などから地域の関係づくりにも変化が生じています。」と追記し、取組項目に「地域とマンション等の集合住宅の住民との交流の促進」を追加しました。 ⇒27ページ施策⑳の3～5行目、取組項目61
182	安全・安心な東山に向けて玄関灯の夜間点灯を (50歳代/男性/今熊野)	地域の安心安全のまちづくりを進めていく中で、地域で協力して取り組むことが可能であると考えます。
183	祇園北側地区に住民を増やすため、祇園北側地区の将来ビジョンを明確化し、地域への参画を促進する (60歳代/男性/有済)	今後、各学区において、まちづくりの方針が明確化され、地域一体でさまざまな取組が進められていきます。こうした取組に区民ひとりひとりが関心を持ち、参画されることが必要です。
184	東山南小中学校統合後の小学校跡地の自治連合会の使用を (70歳代/男性/今熊野)	東山区では、開晴小・中学校に続き、南部においても学校統合に向けて取組が進んでいます。統合後の学校跡地の利用については、地域の活性化につながるよう十分な検討が必要であると考えます。
185	今後も、日曜日の学校運動場開放を当番制で管理・監視し、地域で活用できるようにしていきたい (60歳代/女性/今熊野)	東山区では、開晴小・中学校に続き、南部においても学校統合に向けて取組が進んでいます。統合後の学校跡地の利用については、地域の活性化につながるよう十分な検討が必要であると考えます。
186	地域住民の意識改革が本当に必要な時期に来ている (50歳代/男性/今熊野)	人と人のつながりの希薄化が危惧される中、東山区は小学校の統合により小学校区に変化が生じ、地域活動の単位である「学区」に対する意識にも変化が生じてくると考えます。今一度、「だれもが住み続けたいまち」にするためには何が必要か、ひとりひとりが考えていくことが大切であるといえます。

施策21 地域と大学などの主体との連携強化

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
187	大学（京都女子大学等）、高校、中学に地域文化講座を開講して、一般社会人も聴講を可能としてはどうか (60歳代/男性/一橋)	生涯学習の充実につながるよう、大学などと地域の関係が深まる取組について、今後とも充実が図られる必要があると考えます。

施策22 新しい地域自治を推進するネットワーク化の促進

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
188	新しい人材の育成につなげるには、夏まつりや区民運動会、地域の行事に準備段階から参加し、積極的に地域と関わることから始めるとよい (40歳代/女性/清水)	地域活動への参画を進めるため、ご意見のように、地域のイベントをきっかけにすることも大切です。また、まちづくりの担い手づくりの取組項目も掲げています。 ⇒27ページ施策22の取組項目65

189	学区の自治組織の活性化のため、各世代の代表が参画する組織にすることが大切（70歳代/女性/今熊野）	広域的なまちづくりの推進や人材育成のため、幅広い世代が参画する組織の検討が必要であると考えます。
190	いろいろな世代の意見を取り入れられる民主的な自治組織を構築することが必要（50歳代/女性/修道）	広域的なまちづくりの推進や人材育成のため、幅広い世代が参画する組織の検討が必要であると考えます。
191	自治法の改定された点を生かし、東山区協議会のような公選制の自治組織をつくるべき（60歳代/男性/月輪）	地域活動の活性化につながる組織体制の構築が大切であると考えます。

施策23 区民に身近な区役所づくり

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
192	高齢者所帯等を対象とした「ワンストップの相談窓口の設置」を（60歳代/男性/一橋）	医療や福祉など多様な行政ニーズを持つ高齢者世帯には、ワンストップの窓口が有効ですが、専門的な内容については所管課が対応すべき面もあり、関係課の連携を強めるなど、区役所への来庁者が用件を迅速、的確に済ますことができるよう、取組を進める必要があります。こうした考え方の下に、区役所の窓口サービス向上の取組を掲載しています。 ⇒27ページ施策23の取組項目68
193	60歳以上の区民のために、買い物帰りに区役所でゆっくりできる高齢者スペース（有料）を確保してほしい（60歳代/女性/清水）	現在、区役所には交流ロビーが設置されています。求められているスペースに適しているか分かりませんが、憩いの場として活用されてはいかがでしょうか。

4 重点プロジェクト

重点プロジェクト（29～30ページ）

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
194	わかりやすい計画ですが、何を重点に取り組むのかを示してほしい（40歳代/男性/清水）	より優先的に取り組む項目を「重点プロジェクト」として記載しています。 ⇒29～30ページ（重点プロジェクト）

取組の役割分担（11～12ページ、15～16ページ、19～20ページ、23～24ページ、27～28ページ）

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
195	行政が強力なリーダーシップをとって取り組むべきものと、区民と事業者、行政が協働で取り組むべきものを区別すべきでは（50歳代/男性/清水）	区民、事業者、行政の取り組む役割を明確に示しています。 ⇒11～12ページ、15～16ページ、19～20ページ、23～24ページ、27～28ページ（各分野ごとの取組）

196	高齢者福祉や子育てについては、市民にもたくさんのノウハウの蓄積とマンパワーがある。市民・区民として、それらを發揮できるのであれば取組は進む(40歳代/男性/清水)	計画を推進するためには、行政だけでなく、区民、地域、事業者の皆さんの活動も必要です。掲載された取組項目について、それぞれの役割や能力を生かし取り組むことが大切であると考えます。今後とも地域のためにご協力いただければ幸いです。
197	10年前の理想がまったく機能してない現状を考えると、少しでも実現できるようにできる限りのささやかな協力は惜しまない(60歳代/男性/今熊野)	計画を推進するためには、行政だけでなく、区民、地域、事業者の皆さんの活動も必要です。掲載された取組項目について、それぞれの役割や能力を生かし取り組むことが大切であると考えます。今後とも地域のためにご協力いただければ幸いです。
198	「取組項目」を実現する具体的な道筋が見えてこない。担い手・推進役として期待される人達(団体等)が計画策定に積極参加するなど、必要性や当事者意識を感じているといい(30歳代/男性/今熊野)	取組項目を推進するため、区民、地域、事業者、行政の役割を明確化し、参画の促進を図るようにしています。また、区全体で計画を推進するためには、情報交換や協議の場を設けることが必要であると考えます。
199	区民としての取組は、自然環境、産業(商店街づくり)、コミュニティの分野でできる。保健・福祉・教育、景観・都市基盤については、行政がリーダーシップをとらないと難しい(30歳代/女性/清水)	計画を推進するためには、行政だけでなく、区民、地域、事業者の皆さんの活動も必要です。分野によって重みは異なりますが、掲載された取組項目について、それぞれの役割や能力を生かし取り組むことが大切であると考えます。

5 計画の実現に向けて(31ページ)

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
200	住民集会を学区毎に開くなど、行政の姿勢が問われている(90歳代/男性/今熊野)	計画の策定に当たり、各学区において住民円卓会議が設置され、学区のまちづくりについて協議いただき、各学区では「学区まちづくりビジョン」が作成されました。これを機に学区のまちづくりが一層進められていくと考えています。 ⇒27ページ施策⑳
201	計画全般にあげた施策の進ちょく、実施状況をわかりやすく、よりリアルタイムで、区民等に情報発信されることを希望(50歳代/男性/清水)	計画の推進のためには、区民と行政が情報を共有し、協働で取り組むことが重要です。ご意見については、取組を進めていく段階でより適切な方法を検討します。
202	区民だけの意見ではなく、市民全体からも聞くことにより、新たな考え方や発想が出てくるのではないかと(40歳代/男性/清水)	計画には、来訪者の方々にも参画していただく事業も掲げています。また、市基本計画とも整合を図っております。今後とも、多様なご意見をお聞きしながら、計画の推進に取り組むことが必要であると考えます。
203	区民がどう結集したり、行動したりできるかがすべての鍵になる。一部の区民がというのではなく、全体を巻き込む動きをどんな形で進めていくのか期待する(30歳代/女性/清水)	計画を推進するためには、区民、地域、事業者、行政が協働で取り組むことが重要です。そのため、それぞれの役割分担を掲げています。また、取組を進めていくうえで推進体制の強化を図っていきます。

204	具体的にどういうことができるのか。今後どういう経過や過程が予想できるか、計画性として高く望めるのか等、分かりにくい。もう少し生活している人たち向けの具体策、具体例を挙げてもらえるともより身近な問題として考えられる (30歳代/女性/清水)	計画では、区民、地域、事業者、行政の役割を明確化し、それぞれの取組事例を提示しています。また、今後、「東山区基本計画推進会議(仮称)」を設置し、「計画」「実行」「点検」「見直し」を繰り返しながら、着実に計画を推進することとしています。
205	まちをつかっていくのは私たちだと思うので、このように意見を言えるのはありがたい。もっと一人ひとりが、東山について考えるチャンスを是非増やしてほしい (30歳代/女性/清水)	各学区が一体となってまちづくりを進めるためには、学区内での情報共有や協議は不可欠であると考えます。また、区全体では、各主体の代表者間の協議や、若者同士の会議の場などを積極的に開催していくことができると考えます。
206	人がよく集まる場所に観光客や区民の意見を聞けるような「ひとことスペース」をつくってはどうか (20歳代/清水/女性)	計画には、来訪者の方々にも参画していただく事業も掲げています。取組の推進に向けて、ご意見のような取組を今後の施策へ反映することを検討します。
207	関係機関・団体と連携し、各施策が一つでも多く実現できることを期待する (50歳代/男性/今熊野)	計画を推進するためには、関係機関・団体が連携することは大切であると考えます。
208	委員の中に経済関係者を積極的に活用する (60歳代/男性/月輪)	計画を推進するためには経済的な視点を考慮に入れることも大切な要素であると考えます。
209	行政は机上だけの議論だけではなく、身近な行政役人であって区民の先頭に立って引っ張ってほしい (50歳代/男性/今熊野)	計画を推進するためには、区民、地域、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、協働で取り組むことが重要であると考えます。
210	人が多くていいまちだと思うので、ちょっと前に引っ張っていく人がいれば、変えていけるような気がする (30歳代/女性/-)	計画を推進するためには、区民、地域、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、協働で取り組むことが重要であると考えます。また、地域のまちづくりを担う人材を育てることも大切です。

6 東山からのメッセージ (32ページ)

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
211	少子高齢化、地場産業の衰退、道路交通問題を東山区にとどまらず、京都市に対しても、国に対しても、抜本策を強く求めていくべき (50歳代/女性/修道)	東山区は、人口減少や少子高齢化などが著しく、本市をはじめ全国のまちにとっても将来深刻化する課題に直面しています。他の地域のまちづくりの先導役として、「東山からのメッセージ」を全国へ発信します。 ⇒32ページ(東山からのメッセージ)

その他

	ご意見・ご提案の要旨	策定委員会の考え方
212	未来像とまちづくり方針を市政に反映させる (40歳代/男性/弥栄)	本計画は、市基本計画と相互補完の関係にあり、区計画策定の議論は市計画策定においても参考とされています。
213	「今熊野」の読み方の統一(「いまくまの」または「いまぐまの」) (70歳代/女性/今熊野)	貴重なご意見ありがとうございました。

214	策定委員は居住地周辺の状況をもとに発言しており，東山区全体の問題の発言は少ない（60歳代/男性/今熊野）	身近な地域はもとより，東山区全体の視点を持って議論を進めてまいりました。
215	東山から平和のメッセージを世界に発信しては（60歳代/男性/月輪）	平和や民主主義などは言及するまでもなく，計画の前提となる理念です。
216	憲法の理念に立って東山から平和の祈りを発信すべき（70歳代/男性/今熊野）	平和や民主主義などは言及するまでもなく，計画の前提となる理念です。
217	委員会で，一般の傍聴者の意見発表も認めてほしい（70歳代/男性/今熊野）	策定委員会の円滑な運営のため，委員会が必要と認めた場合にのみ発言をお願いしております。
218	設問が難しく，具体例が無いいため書きづらい（60歳代/女性/今熊野）	計画では，各取組項目で具体的な取組事例を記載するなど，分かりやすい表現に努めましたが，計画冊子にまとめる際に一層の工夫を図ります。
219	計画が推進され，10年後の東山区が楽しみ（40歳代/男性/清水）	貴重なご意見ありがとうございました。
220	東山区の計画はすごくわかりやすく，だれにも理解できる内容だと思う（40歳代/女性/清水）	計画では，各取組項目で具体的な取組事例を記載するなど，分かりやすい表現に努めましたが，計画冊子にまとめる際に一層の工夫を図ります。
221	社会情勢を捉え，しっかりと前に向いた，未来を考えた議論をして計画を考えていかないとダメだと思う（50歳代/男性/新道）	ご意見のとおり，長期的な見通しによる計画の策定が重要であると考えます。
222	東山は五条を境に二分されているのをどのようにまとめるかが大事（40歳代/男性/-）	貴重なご意見ありがとうございました。
223	まちづくり方針は，「クルマ依存型社会からの脱却」は理解できたが，他は意味がわからない（50歳代/女性/-）	計画では，各取組項目で具体的な取組事例を記載するなど，分かりやすい表現に努めましたが，計画冊子にまとめる際に一層の工夫を図ります。